

教育勅語のお話

特264

370

247

3

3

50

6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

始



97264

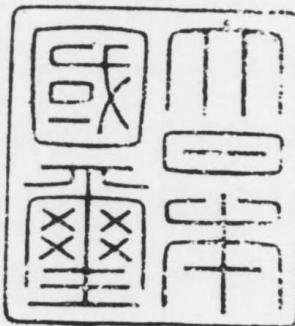
370



下 陞 上 今



睦仁



勅語のおしまひに「御名御璽」さあります
すが「御名」さいふのは天皇陛下の御名で
あつて、このお寫眞は明治天皇様が御名
「睦仁」ご御親ら御書き遊ばされたものです
したゞよいんだいだいてんのうへいかごしようあそ
その下の御印は代々の天皇陛下の御使用遊
ばされる御印でこれを「御璽」さ申します

明 治 大 帝



明治天皇御製

正一位光頭

うめくとくよみくとくを大す
あらかじめわのり心と身づれ

あさみどりすみわたりたる大空のひろきをおのが心さもがな

教育に關する勅語

翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラ
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱
ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謀ラス之ヲ中外ニ施
シテ惇ラス朕爾臣民ト俱ニ拳拳服膺シテ成其德ヲ一ニ
センコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ聲ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツ
ルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一
ニシテ世ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシ
テ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ
友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及
進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ
一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シノベテ天壤無窮ノ皇運ヲ扶

はじめに

皆さんも知つておられるやうに、十月二十日は教育記念日であります。どこの學校でも式をいたします。皆さんは此の日に學校でどんな式があるかを、一人のこらず知つてゐませう。この日は今から四十四年前、明治二十三年十月二十日に、今の天皇陛下のお祖父様にあたせられる明治天皇様から、私たち日本國民のために教育勅

語を下し賜はつた、忘れてはならない日であります。祝日や記念日などには、きつと校長先生が勅語を捧讀なさいます。この勅語は皆さんのが學校に居る間も、學校を出て一人前の人になつた時にも、守らなければならぬ心得や、又行はねばならぬ道をお訓へになつてゐます。私たち日本國民は、明治天皇様のこの有難い御心を、一日も忘れてはなりません。

今度皆さんに勅語をさし上げることにしました。これは勅語の有難いお訓をよく知つて、しつかり胸にしみこませて、毎日々々行つ

ていたゞき度いためであります。この勅語は壁にかけておくなり、机の上に立て、おくなりして丁寧に取扱ひ、決して粗末にしてはなりません。そして朝夕これを捧讀して、皆さんが一人のこらずよい日本人になついたゞき度いと思ひます。

日本の天子様は神武天皇様をはじめ奉り、代々の天子様はどなたもお偉いお方ばかりであります。中でも明治天皇様は大そうお偉い天皇であらせられまして、日本よりも何倍も何倍も大きい支那やロシヤと戦つて、大勝利を得ることが出来ましたのも、明治天皇様

がおえらかつたからであります。皆さんもよく知つてゐるやうに僅

かの間に、臺灣や朝鮮や樺太や南洋の島などの人々も我々の同胞になりました。今では世界でも強いく立派な國となつてゐるのであります。しかし皆さんはこの上なほしつかり勉強して、日本をもつともつとよい強い國にしなければなりません。皆さんが學校へ行つてゐる時の心得や、お家にある時の心がけや、又大きくなつてから世の中へ出てふまなければならぬ正しい道をお訓へになつたのがこの勅語であります。ですから勅語のありがたい御恩召をよく守つ

て、良い日本人となりませう。そしてどこまでも／＼日本の國を榮えさせて行きませう。世界に二つとない大日本帝國のために、しつかり働きませう。御國のためにつくしませう。

これから此の勅語のありがたいおこゝろの一つ／＼を、わかりやすいやうにお話することにいたします。

勅語のお話

一

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ聲ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ

朕（天子様が御自分のことをおほせられる時の御ことば）惟フニ（よく考へてみるに）我カ皇祖（天照大神をはじめ神武天

皇から前の神々様）皇宗（神武天皇からのちの代々の天子様）國ヲ肇ムルコト（大日本帝國といふ國をおたてになつたこと）宏遠ニ（かまへが大きくてながくつゞくこと）徳ヲ樹ツルコト（忠義孝行の道を臣民の心にふかくうゑつけ、よいまつりごとをして國を治め、また臣民をおかはいがりになつて良いお手本をおしめしになつたといふやうなことを徳といふ、その徳をおたてになつたこと）深厚ナリ（まことにおく深くしてかぎりなくあついことである）

こゝでは日本の國が世界中のどの國よりも一段とすぐれた國であることを申されたのであります。皇室の御先祖が日本の國をおはじめになつた、そのもとがまことに廣く大きく、そしていつまでも動くことのないやうになされたことや、又皇室の御先祖は御自ら御身を正しくさせられ、我々臣民をおかはいがりになつて、いつの世までもお手本をおのこしになられたことを、仰せられたのであります。皆さんも知つてゐるやうに、天照大神は皇室の御先祖の神様で、伊勢の皇大神宮にお祀りしてあります。初め天照大神が、御孫の瓊

杵尊を此の國にお降しになられた時に『豊葦原の瑞穂の國は我が子孫の君たるべき地なり。汝皇孫ゆいて治めよ、寶祚の隆えませんこと天壤とともに窮なかるべし。』とおほせられました。『豊葦原の瑞穂の國』といふのは、此の日本の國をさして言はれたものであります。『此の日本の國は自分の子孫が天子となるべき所である。汝はこれから行つて、日本の國を治めなさい。天皇の御位のさかんであることは、天や地と一しょにいつまでもかはることがないであらう。』と仰せられたのであります。此の天照大神の御言葉が、日

本の國の本をなしてゐる所であります。これはまことに遠い昔のこととであります。それからこの方、今上陛下に至るまで、御先祖の神様、天照大神の御血統がずっとつゞいて來てゐるのであります。是を萬世一系と申します。此の萬世一系といふことは何處の國にもない事で是が日本の國の尊い譯であります。

代々の天子様も天照大神の御おほせをお守りになつて、今日に至つたのであります。申すもかしこい事であります。日本の皇室がまことにありがたい事であります。日本の國が世界に一つとないわい

のある國であるのも、日本の國がこんなに榮えて來たのも、日本の國のはじまりが世界のどの國のはじまりよりも、全くちがつたありがたいものであるからであります。

代々の天子様も御自分の御身を先づ正しくさせられ臣民を我が子のやうにかはいがつて下さつたのであります。私たちが日本の國に生れて、毎日米の御飯が食べられるのは、誰のおかげであります。伊弉諾尊・伊弉册尊をはじめ奉り、神々様が此の國に米が作られるやうにして下さつたからであります。そればかりでなく、薬のこと

蠶のこと、皆神々様の造られたものであります。それを思ふと、日本
の國は何とありがたい國ではありますか。日本のはじまり程、
立派で美しい國は外には一つもありません。私たち日本人としては
片時もこの事を忘れてはなりません。

二

我力臣民（我が日本の國民）克ク忠ニ（よく天子様に忠義をつ
くす）克ク孝ニ（よく親に孝をつくす）億兆心ヲ一ニシテ世世厥ノ美ヲ濟セ
ルハ此レ我力國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス

我力臣民（我が日本の國民）克ク忠ニ（よく天子様に忠義をつ
くす）克ク孝ニ（よく親に孝をつくす）億兆心ヲ一ニシテ（た
くさんの人が心をあはせて）世世厥ノ美ヲ濟セルハ（神武天皇
からこの方代々臣民としての美はしい務をなしとげて來たの
は）此レ我國體ノ精華ニシテ（これは日本の國がらが世界中で
一番すぐれて立派なところであつて）教育ノ淵源（學校で先生
が教へることのおほもと）亦實ニ此ニ存ス（日本の國がらのす
ぐれたところから生れてゐる）

日本の國のもとは世界に二つとないありがたいものであること、又皇室の御先祖は御自ら御身をお修めになり、臣民をかはいがられて、いつ／＼までもお手本をおこしになられたことは、先程申しました。又私たち臣民の祖先も天子様に忠義をつくし、親に孝行をつくすことを心がけ、みんな心を一つにして、代々忠義と孝行をつくして來たのは、日本の國がらの實に美しいところで、日本の學校で物を教へることのおほもともまた、この良いことがらから出てきたのだといふことを、申されたのであります。

日本の國は神武天皇が大和の檜原の宮で天皇の御位におつきになつてから、今年で二千五百九十四年になります。そのながい間、私たちの先祖も忠孝の心にあつかつたのであります。忠といふのは天子様にまごゝろをつくし、孝といふのは親を大事にし先祖をうやまふことであります。日本の國では皇室と國民とは一つの大きな家族であつて、皇室は我々國民の總御本家であります。そしてつまりは忠と孝とは同じものであつて、君に忠義をつくすことは、親に孝行をすることであり、親に孝行な者は、君に忠義なものであります。

昔から『忠臣は孝子の門より出づ』と言はれてゐますが、全くその通りで、楠木正成の子に正行があつたやうなものです。それで明治天皇様は、『お前たち國民は、ながい間よく天皇に忠義をつくし、よく親に孝行をつくし、大せいの者が心を一つにして、代々その立派な行ひをなしひとげて來たのは、日本のくにがらの大そうち美しいところである』と私たち臣民をおほめになられたのであります。まことにありがたいお言葉ではあります。そしてこの立派なならはしこそ、教育の大本であると仰せられたのであります。教育と言ふ

のは學校で先生が皆さんを教へみちびいて下さるのを言ひます。皆さんは明治天皇様のありがたいお心をしつかりかみしめて、先生や目上の人の言ひつけをよくきいて、よい日本人となつて下さい。

三

爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ
爾臣民（お前たち臣民）父母ニ孝ニ（お父さんやお母さんに孝行をつくし）兄弟ニ友ニ（兄弟は仲よくし）夫婦相和シ（夫と

妻とは仲よく助け合ひ)

『爾臣民』と言ふのは私たちにむかつてお前たちはと、したしくおよびかけになつたのであります。私たちはよくお父さんやお母さんには孝行をつくし、兄弟は仲よくし、夫と妻とはたがひに助けあつて仲よくしなければなりません。そうすれば家庭はなごやかで榮えて行くのだとお訓へになられたのであります。つまり皆さんのお家庭のことについて、おさとしになられたのです。

皆さんは學校で先生から、親の言ひつけをよくきいて、親を大切

にし、親に孝行しなければならないことを、たび々教へていたといでせう。私たちが生きて行くには、少しの時間でも空氣がなくてはならないものであります。しかし空氣は目に見えないし、いくらでもあるので、あまりありがたいものとは考へてゐません。がもし空氣が無かつたらどうなるでせう。それと同じやうに、皆さんはもしお父さんやお母さんがゐられなかつたなら、どんなに困ることでせう。寒くとも着物もきられないし、御飯も思ふやうにいたゞかれません。皆さんがこゝとして元氣よく毎日學校に行くことが

出来るのも、お父さんやお母さんや、又兄さん姉さんたちのおかげでありますから、空氣の大切さに氣付かないやうに、親の恩をありがたく思はないのはもつたいないことです。今度出来た小學校一年

の修身の本にも『オヤヲタイセツニ』といふ孝行のお話があり、その外學校の本には澤山出てゐますから、よく御存じのこととせう。皆さんの中には、まだ歩くことも出来ないやうな、小さい妹や弟のある方もませう。小さい妹や弟のお世話に、お父さんやお母さんがどんなに骨を折つてゐられるかを皆さんはよく知つてゐませ

う。どんな寒い日であつても、お母さんは赤ちゃんのおむつを洗つてゐられます。赤ちゃんがもし病氣でもすると、お父さんやお母さんはどんなに御心配なさることでせう。皆さんもまだ小さい赤ちゃんであつた時から、かうしてお父さんやお母さんがそだてゝ下さつたのであります。

昔から『父母の恩は山よりも高く海よりも深し。』といひますがほんとうにこのとほりであります。お父さんやお母さんがありがたくないと言ふやうな人は一人もゐないでせう。もしそんな人がゐた

ら、けだものにもおとつた人だと言はなければなりません。皆さん
は一人残らず、お父さんやお母さんの言ひつけをよく聞いてゐます
か。先生やお父さんの言ひつけをよくきいても、お母さんの言ひつ
けはよくきかないと言ふやうな方はありませんか。もしそんな方が
ありましたなら、今日からお母さんの言ひつけもよくきくよい子供
にならなければなりません。お父さんやお母さんに孝行をつくすに
は、どんなにすればよいでせうか。

一、親のありがたいことを知つて、その御恩を忘れないやうにし

お父さんやお母さんが皆さんをどんなにかはいがつて下さる
かをよく考へてみせう。

二、身體を大切にし、しつかり勉強してお父さんやお母さんを安
心させませう。

三、お父さんやお母さんの言ひつけをよくきいてお叱言を言はれ
ないやうにするだけでなく、すうんでお父さんやお母さんに
喜んでいたときませう。

四、弟や妹に親切にし、兄さんや姉さんをうやまつて、兄弟仲よ

くしませう。

この他にもまだいろいろあります。これ位の心がけは誰でも持つてゐなければなりません。

兄弟仲よくするには、たとへばどなたかに、ものをいたゞいたときは分け合ひ、お互に言葉づかひをしていねいにして、あやまちはゆるし合ふやうにしなければなりません。勅語のありがたいおほせをしつかり心にかけてお父さんやお母さんには孝行をつくし、兄弟は仲よくしなければなりません。さうすれば皆さんは誰でも立派な人

になることが出来ます。皆さん立派な人になることが出来るばかりでなく、皆さんのお家庭はたのしい明るいお家庭となつて、家はだん／＼榮えて行くことが出来ます。

四

朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ
朋友相信シ（おともだちはおたがひにまごころを以てつきあひ）恭儉己レヲ持シ（行をつゝしみきまゝなことをしないで

言葉や行を正しくし 博愛衆ニ及ホシ（ひろく人を愛しその氣持を大せいの人にもゆきわたらせる。）

前のところでは皆さんのお家庭のことについておさとし下さつたのでありますか、こゝではお友だちや他人についてのお訓をのべられたのであります。

お友だちは父母や兄弟のつぎに親しいものでありますから、心から信じあつて交らなければなりません。又誰と交はつても身をつゝしみ、自分の心をひきしめて、決してわがまゝ勝手なことをしては

いけません。そればかりでなく、ひろく世の中の人にはやさしい心もちでつきあひ、世の中をたのしくあかるくするやうにと、おほせられたのであります。

皆さんにはたくさんのお友だちがあります。誰でもお友だちのない人はありません。お友だちと一しょに勉強したり、面白く遊ぶ程たのしいことはありません。心から信じあつたお友だちのあひだほど美しいものはありません。皆さんはお友だちから親切にしてもらつたことがあります。又お友だちに親切にしてあげたこともあ

りませう。お友だちから親切にしてもらつた時、皆さんはどんな氣持がしましたか。きつとうれしくて、目に涙がうかんで來たことであります。皆さんの方でお友だちに親切にして上げた時は、お友だちの方でも同じやうな氣持をしてゐるのであります。私たちが世の中を生きて行くには、お友だちはなくてはならないものであります。お友だちと永くつき合つて行くには、おたがひに心から信じあはなければなりません。それには先づうそを言はないやうにしなくてはなりません。お友だちと約束したことはちやんと守り、悪いこ

とは悪いことだとはつきり言つてとめるやうにし、よいことはすゝめるやうにして、たがひに助け合ふやうにしたいものであります。又お友だちのあやまちは心からゆるして上げて、いつまでも仲よくするやうにしなければなりません。

次には我身をつゝしんで、きまゝなことをせず、ひろく大ぜいの人親切にするやうにお訓へになつてゐます。

わが身をつゝしむとは、じまんしたり、人を馬鹿にしたり、目上の人をあなどつたり、無駄づかひしたり、わがまゝを言つたりしな

いやうにすることであります。これは私たちに大そうち大切のことであります。少し位のことをじまんしたりしてゐると、勉強の方も決して進むものではありません。人を馬鹿にするやうな人は、人からも馬鹿にされて、相手にしてくれなくなります。目上の人をあなどつたりすることも、決してよい子供のすることではありません。その外無駄なことにお金をつかつたり、わがままを言つたりしてゐては、よい日本人となることが出来ません。そんな人間が世の中にたくさんあると、世の中はどんなになるでせうか。皆さんは学校で儉くさんあると、

約のことや、お行儀のことについて先生から教へていたいたであります。御飯をいたゞく時にも、人と話をするときにも、何事をするにも不作法なことをしてはなりません。おじぎもていねいにすることを忘れてはなりません。

そして世の中の多くの人たちには親切にいたしませう。たとへ見知らぬ人であつても、困つてゐる人があれば助けてあげやうと考へるのは、人間の美しい心であります。人に親切にすることは、人の心をなごやかにし、人ととの間をしたいものにします。人に親

切にする心がないと、日本の國はすみよい國とはなりません。この人間の美しい心をます／＼生かしてゆきますと、この世の中はたのしい生きがひのあるものとなるのであります。

五

學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進ンテ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ

學ヲ修メ（學問を身につけ）

業ヲ習ヒ（仕事をよくならひお

ばへ　以テ（これによつて）智能ヲ啓發シ（ちえやしごとをする力をひらきすゝめ）德器ヲ成就シ（世の中の手本になるまことに立派な心を持つた人になる）進ンテ公益ヲ廣メ（なほ進んで世の中の爲になることを出来るだけたくさんする）世務ヲ開キ（世のためになる仕事を考へ出し）

日本の人々がすぐれてをれば日本の國もしせんすぐれて來ます。ですから私たちは、學問を修め仕事を習つて、さうしてちえや心をみがいて、立派な役に立つ人間とならなければなりません。又す、